

受入先	NPO 法人 顚娃おこそ会
役職	
隊員氏名	小野寺 宗貴
着任日	令和 5 年 7 月 1 日

活動月	令和 7 年 3 月（着任 1 年 9 カ月目）
主な活動	1 事業化に向けた取り組み 2 地域活性化の取り組みに関する集会への参加 3 先行事例視察

1. 事業化に向けた取り組み

指宿枕崎線を活用した地域おこしの拠点を作るために、西顚娃駅を改良して人々が集まれる場所としたい。

そのために必要となる設備について工務店の方とお話を重ね、駅建物を所有している JR 九州の方とやり取りをしています。

駅窓口で定期券などを発売していますが、指宿枕崎線全体の雰囲気が好きだということで遠方から来駅する方から話を聞くこともあり、乗り降りするために利用するだけではなく、様々な思いを持っていることを感じます。裏を返せば、利用する方の思いをまとめることや、今ある雰囲気を残しつつどのように変えていくかという難しさがあります。

事業を継続して行っていくためには、自分ひとりの思いだけでは上手くいかない。思いを同じくする人が集まらないといけないことを感じながら進めています。



【駅待合室】

2. 地域活性化の取り組みに関する集会への参加

他の場所では、地域を活性化するためにどのような取り組みを行っているか学ぶため、集会に参加しました。

熊本県の肥薩線矢岳駅での取り組みです。災害により現在は列車の運行がされていない場所ですが、駅及びその周辺の雰囲気好きな海外の方が保存及び活性化につなげております。山間にひっそりとたたずむ駅で、秘境路線が好きな鉄道ファンには有名な場所ですが、駅建物を活用した取り組みやイベントがされています。

日本と海外が融合した取り組みで、発表を聞きましたが、実現までには多くの苦労があったのだろうと感じました。



【取り組み紹介】



【会議の様子】

3. 先行事例視察

かつて駅社員が勤務していたが現在は無人となっている駅の建物を活用している取り組みで、ホテルにしたところもあります。全国にいくつかありますが、和歌山県の高野山の麓にある高野下駅にあるホテルを視察しました。

室内にはかつて使われていた鉄道の機器類があり、宿泊者を楽しませる仕組みが盛り込まれていました。また、かつての駅事務室などをリフォームしてホテルにしていますが、室内にある柱はそのままの状態で作っているなど、残すところと変えるところを見極めながら作られたことに感心しました。



【駅外観】



【室内の様子】